

必要に応じてイネカメムシの 追加防除を行いましょう ～3回防除で斑点米防止！～

下都賀地方が推奨する2回の防除を行ってもなお、カメムシ類の発生がみられる地域は追加防除が必要です。

(写真) 野木町
6/9田植のとちぎの星
8/26すくいとり調査結果
イネカメムシ成虫 **7匹**



管内南部(野木町、小山市、
栃木市) 水稻ほ場(2回防除済
み)にて、イネカメムシが確
認されました！

予察灯(小山市)でも増え始め
ており、今後斑点米が発生し
玄米品質が低下する恐れがあ
ります。

ドローン散布する場合は
こちらを参照ください。

無人航空機による農薬等の空中
散布に関する情報：農林水産省



防除をする時は…

ドリフト注意！農薬の適正使用！

使用回数、収穫前日数を必ず守りましょう

RACコードを参考に同系統の薬剤の連用を避けましょう

3回目防除の推奨薬剤

(令和7(2025)年8月6日現在)

農薬名	希釈倍 数	使用時期	本剤の 使用回数	成分	農薬の系 統	IRAC コード
スタークル 液剤10	1000倍	収穫 7日 前 まで	3回 以内	ジノテフラン	ネオニコチ ノイド	4A
トレボン 乳剤	2000倍	収穫 14日 前 まで	3回 以内	エトフェン プロックス	ピレスロイ ド	3A
キラップ フロアブル	1000～ 2000倍	収穫 14日 前 まで	2回 以内	エチプロール	フェニル ピラゾール	2B

注1：IRACコードが同一のものは作用点が同じなので連用を避ける

注2：斑点米カメムシ類の薬剤防除は、水田周辺のミツバチに影響を及ぼす可能性があるため、地域の養蜂家へ薬剤防除日を事前に周知する等の積極的な対応を行う。

⚠作業時は、熱中症対策を万全に

農作業中に熱中症になる人が増えています。

9月以降も暑さが続くため、引き続き注意が必要です。

正しい知識を身につけ、適切に予防しましょう！

①暑さを避ける

高温時の作業は極力避けましょう。特に、熱中症警戒アラートが発令されている時は注意しましょう。

栃木県農業防災LINEでは、カメムシ情報や熱中症警戒アラートをお知らせしています。



②こまめな休憩と水分・塩分補給

「喉が渴いたな」と感じたら、脱水症状は始まっています。こまめに水分・塩分を補給しましょう。

アラームをかけて、定期的に（20~30分に1回程度）休憩、水分・塩分補給をすることがおすすめです。

③単独作業は避けましょう

複数名で作業を行うようにしましょう。

単独で作業する場合は、万が一に備えて、携帯電話や応急セット（経口補水液や急冷シートなど）を持って行きましょう。

④熱中症対策アイテムの活用

帽子や空調服、ネッククーラーなどを活用し、体温の上昇を防ぎましょう。

冷感グッズは「冷たく感じる」だけで、実際には冷やしていないので、注意が必要です。

農作物には登録農薬を使用し、使用基準を遵守しましょう！



身支度も
万全にして
まる～

- ①農薬容器のラベルをよく読み正しく使う
- ②農薬の飛散防止を徹底する
- ③農薬の使用状況を正確に記帳する



イネカメムシによる不稔の防止には、出穂期防除が必須です！！

イネカメムシは出穂期頃の水稲を被害し、不稔による大幅な減収を引き起こします。従来の乳熟期の防除に加えて、出穂期の防除に努めましょう！



防除対策や発生予測は栃木県
◀「カメムシ防除作戦」HPでご確認を

県農業防災LINE（公式アカウント）
カメムシ情報も随時発信中！▶



問合せ先：下都賀農業振興事務所 経営普及部 0282-24-1101